

農林水産商工常任委員会提出資料

(平成22年1月21日)

項 目	ページ
1 戸別所得補償モデル対策について 【生産振興課】	1
2 一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について 【耕地課】	3
3 「とっとり共生の森」協定締結について 【森林・林業総室】	4
4 「カーボン・オフセットシンポジウム」の開催について 【森林・林業総室】	5
5 境港産冷凍マグロの市場評価調査について 【境港水産事務所】	6

農 林 水 産 部

戸別所得補償モデル対策について

平成22年1月21日
生産振興課

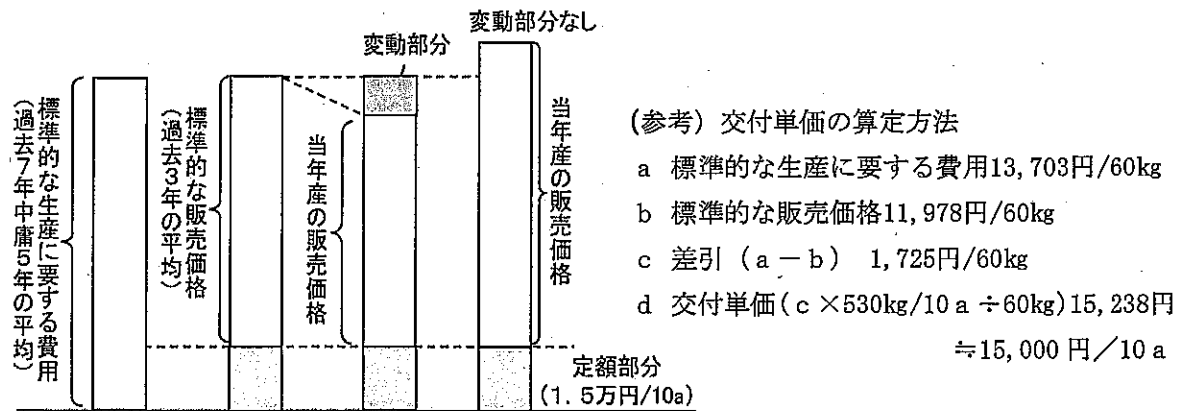
平成22年度から、米の所得補償を行う「米戸別所得補償モデル事業」と、水田を活用して自給率を向上するため転作作物への助成を行う「水田利活用自給力向上事業」が実施され、その概要は以下のとおりである。

1 事業内容

(1) 米戸別所得補償モデル事業 (3, 371億円)

米の「生産数量目標」に即した生産を行った販売農家に対して所得補償を直接支払い。

- ① 定額部分：1.5万円/10a (標準的な生産に要する費用(過去7年中庸5年分の平均)と販売価格(過去3年の平均)との差額を全国一律単価で交付。)
- ② 変動部分：当年産の販売価格が、標準的な販売価格を下回る場合に、差額を交付。
- ③ 対象面積：主食用の作付面積から一律10aを控除して算定。



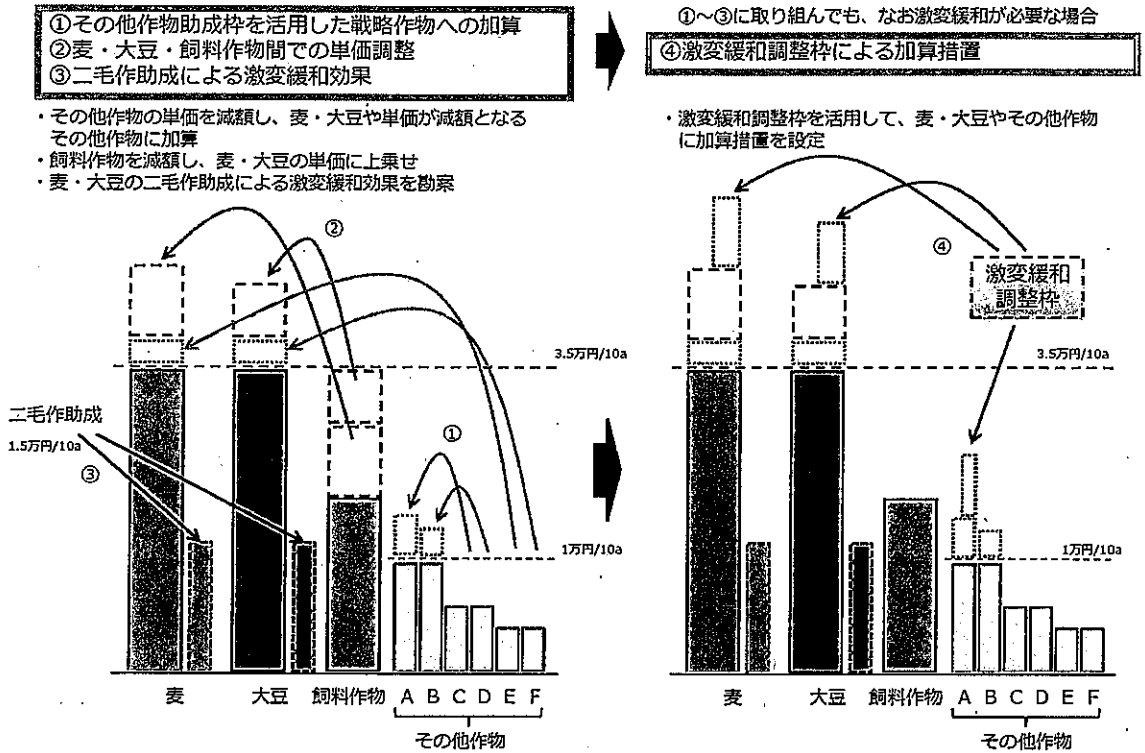
(2) 水田利活用自給力向上事業 (2, 167億円)

- ① 自給率向上を図るため、水田を活用して、麦・大豆・米粉用米・飼料用米等の戦略作物の生産を行う販売農家に直接支払いで助成。
- ② その他作物については県単位で単価調整可能。
- ③ 制度変更に伴い交付額が減少する地域に対し激変緩和を措置。
- ④ 米の「生産数量目標」に即した生産にかかわらず助成。

作物	単価(10a当たり)
麦、大豆、飼料作物	35,000円
新規需要米 (米粉用・飼料用・バイオ燃料用米、WCS用稲)	80,000円
そば、なたね、加工用米	20,000円
その他作物(都道府県単位で単価設定可能)	10,000円
二毛作助成(主食用米と戦略作物又は戦略作物同士の組み合わせ)	15,000円

【水田利活用自給力向上事業に係る激変緩和措置のイメージ】

鳥取県の激変緩和措置枠 44,836千円



2 スケジュール

- 12月16日(水) 県水田営農推進協議会総会 (H22米生産数量目標を設定)
- 12月18日(金) 生産数量目標を通知(県 → 市町村)
- 12月29日(火) 戸別所得補償制度説明会 市町村、地域水田協議会、農業団体等
- 1月15日(月) 県別説明会 国、県、市町村、水田協議会、農業団体等
(政務三役、農林水産省、農政局が出席)
- 1月～順次 市町村別説明会(農政局、農政事務所が説明)
- 1月下旬 その他作物の単価設定、及び激変緩和措置の対応決定
- 1月下旬～ 集落座談会等での農家への周知(市町村、JA、県等)
- 4月～6月 加入申込(農家 → 農政事務所)
- 12月～3月 交付金交付(農政局 → 農家)

一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について

平成22年1月21日
 耕地課

主務課	工事名	工事場所	契約の相手方	契約金額	工期	契約年月日	工事内容	摘要
耕地課 (中部総合事務所農林局)	県営桜池地区ため池改修工事	東伯郡 北栄町 大谷	株式会社 井木組 代表取締役 井木 敏晴	115,500,000円 (設計額 132,835,500円)	平成22年1月6日 ~ 平成22年12月14日	平成22年1月6日	堤体工 L=193m 堤高 H=9.9m 洪水吐工 L=37.2m 取水設備工 底樋 L=50.6m 取水設備工 斜樋 L=10.8m 付帯工 1式	総合評価方式 制限付き一般競争入札 平成21年12月17日開札 (9社応札)

「とっとり共生の森」協定締結について

平成22年1月21日

森林・林業総室

ファミリー株式会社（本社：大阪市）が、CSRの一環としての森林保全活動に大山町内の森林をフィールドとして取り組まれることとなり、ファミリー株式会社、大山町、県の3者で、下記のとおり森林保全・管理協定締結の調印を行った。

- 1 日 時 平成21年12月24日（木）午後1時20分～2時
- 2 場 所 シャトー・おだか「特別研修室」（米子市尾高2377）
- 3 調 印 者 ファミリー株式会社 いなだにちむ 稲田二千武 代表取締役社長
大 山 町 もりたますのり 森田増範 町長
鳥 取 県 平井伸治 知事

4 協定目的

- ファミリー(株)は、育林活動を実施することにより森林環境の保全に貢献すること。
- ファミリー(株)は、地域との交流により地域の発展に寄与すること。
- 県と町は、ファミリー(株)の活動に対し協力すること。

5 協定内容

- ・協定期間 平成21年12月24日から平成31年12月23日（10年間）
- ・森林の所在 西伯郡大山町赤松地内
- ・森林の面積 12.9ha
- ・土地所有者 赤松集落
- ・活動内容 ヒノキ人工林の枝打ち、除伐、間伐 など

【参 考】

※ 協定締結森林の状況



※ ファミリー株式会社について

- ・平成6年、大山町高田（高田工業団地内）に名和工場を設置し、マッサージチェアの国内製造拠点を大阪から移転された。
- ・大山町の活性化に尽力されており、稲田社長自らが立案された「大山町活性化プロジェクト」への取り組みによって、温泉掘削など地域の活性化に繋がる取り組みを様々な形で実践されている。

「カーボン・オフセットシンポジウム」の開催について

平成22年1月21日

森林・林業総室

1 趣 旨

我が国が二酸化炭素削減目標として1990年比25%削減を掲げる中、森林の二酸化炭素吸収源としての役割はますます重要になっている。

森林による二酸化炭素吸収や、木質バイオマスの活用による二酸化炭素排出削減など、森林資源を活用したカーボン・オフセットの取り組みを県内に普及するため、シンポジウムを開催する。

2 日 時 平成22年1月30日(土) 午後1時30分～4時

3 場 所 とりぎん文化会館 第一会議室 (鳥取市尚徳町101-5)

4 主 催 鳥取県

5 参加定員 200名

6 参加料 無料

7 内 容

○事例報告

演題「全日本空輸(株)のカーボン・オフセットの取り組みについて」

講師 全日本空輸(株)上席執行役員CSR推進室長 ^{ごとうやすお}五嶋八洲雄 氏

○基調講演

演題「森林資源を活用した地球温暖化対策の最新動向」

講師 日本大学大学院法務研究科 ^{こばしのりゆき}教授 小林紀之 氏

○鼎談

テーマ「森林を活用した、地域と企業の連携によるカーボン・オフセット」

登壇者 日本大学大学院法務研究科 教授 小林紀之 氏

全日本空輸(株)上席執行役員CSR推進室長 五嶋八洲雄 氏

環境省地球環境局地球温暖化対策課 室長補佐 ^{つかもとあいこ}塚本愛子 氏

8 展 示

○鳥取県県有林J-VERプロジェクトの紹介

○「とっとり共生の森」参画企業の活動状況

○「木の住まいづくりコンクール」受賞作品 など

境港産冷凍マグロの市場評価調査について

平成22年1月21日
境港水産事務所

境港マグロ高付加価値化研究会（会長：境港魚市場㈱ 常務 佐々木六郎）は平成21年6月及び7月に境港に水揚げされたホンマグロを凍結し、マイナス60℃の超低温保管を行ってきた境港産冷凍ホンマグロの市場評価を把握するため、品質及び価格等の調査を実施した。

1 凍結したマグロの出荷状況

(1) 地元関係者の品質評価試食会（ブロックで凍結したもの）

日時：平成21年11月18日（水）11:00～11:45

場所：境港水産物地方卸売市場2階（おさかな学習室）

参加者：約30名（皆生温泉旅館組合、名物料理をつくる会所属の調理関係者が中心）

(2) 東京都中央卸売市場の品質評価（ラウンドで凍結したもの）

日時：平成21年12月3日出荷

場所：東京都中央卸売市場（築地市場）

評価者：卸売業者及び仲卸業者のマグロ担当者

(3) 消費地量販店の品質評価（ブロックで凍結したもの）

日時：平成21年12月17日（木）出荷

場所：関西の百貨店、関東の量販店（計10店舗）

評価者：店舗鮮魚売場責任者

(4) 地元量販店での試験販売（ブロックで凍結したもの）

日時：平成21年12月24日（木）～平成21年12月31日（木）

場所：地元量販店（3店舗）

販売者：(株)島谷水産

(注) ブロック：2～3kgの大きさに切り分けたもの
ラウンド：そのままの形

2 評価結果等の概要

(1) 評価等の結果

	品質評価	評価価格(円/kg)	(参考) 築地市場 単価(円/kg)
地元旅館・飲食業	・概ね良好 ・一部意見として「肉色が悪い」「部位によっては血液残存」で商品価値にマイナス	[ブロック] 1,500～4,000 (多い価格帯： 2,000～3,000)	[ブロック] 1,500～9,000 (平均約5,500円)
中央卸売市場	・極めて悪い ・凍結までの処理方法が雑 ・肉色、鮮度、ドリップともに悪い	[ラウンド] 300～500	[ラウンド] 1,000～6,000 (平均約3,000円)
消費地百貨店 ・量販店	・肉色が悪い ・鮮度・ドリップは普通 ・血液が残存する部位が問題	[ブロック] 1,500～3,980 (多い価格帯： 1,500～2,000)	[ブロック] 1,500～9,000 (平均約5,500円)
地元量販店での試験販売	・販売状況は期間中3店舗で100kg強のマグロを販売 ・消費者の反応は良好（特ににぎり寿司） ・肉色が暗赤色であり、刺身よりも寿司に向いている ・寿司の場合はシャリに血が付着し困る	[商品価格] 刺身3点盛580円 にぎり寿司 (5貫) 598円 (8貫) 980円 鉄火巻 298円	

(注) 築地市場単価は、国産天然冷凍ホンマグロ単価を卸売業者及び仲卸業者のマグロ担当者から聞き取り

(2) 主な意見・要望

地元旅館・飲食業	<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通じた供給により特産品として活用が可能になる ・さらなる品質向上に期待
中央卸売市場	<ul style="list-style-type: none"> ・品質の向上が必須。漁獲直後の迅速な船上処理及び凍結が重要
消費地百貨店・量販店	<ul style="list-style-type: none"> ・良い取り組みであり、期待している（量販店） ・品質としては量販店向けの商材（百貨店） ・国内産天然マグロとして養殖魚との差別化が可能（量販店） ・時期を変えて出荷等の工夫が必要（歳末は赤身のマグロは苦戦）
地元量販店で の試験販売	<ul style="list-style-type: none"> ・「地元産」、「天然ホンマグロ」として強い訴求力がある ・販売価格は赤身が主体のため市場に多く流通しているメバチマグロをやや上回る程度と判断 ・血液の残存等の課題はあるが、地元向け年末商材として有望と判断

3 地元関係者による今後の取り組み

- ・漁獲直後の放血、活〆等船上での処理及び魚体の切分け等、冷凍前処理による品質向上に取り組む。
- ・特産品としての活用に向けた地元旅館、飲食店等への安定供給と、消費地側のニーズに即した幅広い販売戦略の構築に向けて、マグロ、ブリ等を中心とする冷凍保管施設の整備を検討する。



地元関係者の品質評価試食会の様子



築地市場には大型発泡箱にドライアイスを入れ発送



境港産冷凍マグロの刺身
(中トロ部分 半解凍)



県内量販店で販売されたにぎり寿司